



献血に係る服薬基準について

お薬を服用されていても、種類や服用期間により、献血ができる場合があります。
献血にご協力いただく際には、お薬またはお薬手帳をお持ちいただくか、薬名を献血受付時にご申告ください。

**検診医師が健康状態等を考慮し総合的に判断し、献血をご遠慮いただく場合もありますので
予めご了承ください。**

当日服用しても献血可能なお薬	
ビタミン薬	貧血治療等の場合を除く
ミネラル剤	貧血治療等の場合を除く
漢方薬	肝疾患、感冒、喘息治療等の場合は要確認
抗アレルギー薬	ステロイド含有薬は3日間不可
高尿酸血症治療薬	
脂質異常症（高脂血症）治療薬	抗PCSK9抗体（注射薬）は3カ月間不可
胃腸薬	感染性胃腸炎症状がある場合を除く
予防薬としての胃酸分泌抑制薬	消化性潰瘍がある場合を除く
低用量ピル	事後の緊急ピルを除く
少量の女性ホルモン	更年期障害や月経困難症等の補充療法
局所投与の薬物 （点鼻、点眼、吸入、外用）	心疾患、喘息、病原微生物への局所療法の場合は要確認 外用抗炎症薬（塗布剤、貼付剤）は広範囲への使用の場合、 3日間不可※坐薬は、痔疾患薬を除き、内服薬と同じ扱い
緩下剤	
降圧薬	血圧がほぼコントロールされており、心、腎、血管系の合併症がない場合に限る ※使用開始直後や服用量変更直後は要確認
前立腺肥大症治療薬	アボダート、アボルブ、サガーロ、プロスカー、プロペシア等を除く
喘息治療薬	予防的な吸入薬（ステロイド、長時間作用性 β 2刺激薬等） や抗アレルギー薬は可

当日服用していなければ献血可能なお薬

睡眠薬	
抗不安薬	
マイナートランキライザー	
解熱鎮痛剤	症状が無い場合や軽い頭痛、生理痛等の頓用のみ、血小板献血を除き可
風邪薬	
注射	薬効要確認
点滴	薬効要確認

最終服用日を含む3日間は献血いただけないお薬

向精神薬	抗不安薬、マイナートランキライザーを除く
抗菌薬 (抗生物質、合成抗菌薬)	
抗真菌薬	
抗ウイルス薬	
痛風発作治療薬	コルヒチン
喘息治療薬	B刺激薬(経口、長時間作用性 β 2刺激薬を除く吸入、貼付)、キサンチン誘導薬
事後に服用する緊急ピル	

原疾患により原則献血いただけないお薬

抗けいれん薬	
抗凝固薬	
血小板凝集抑制薬	
抗甲状腺薬	
抗不整脈薬	
冠拡張薬	降圧のみ目的の場合は可
強心薬	
抗結核薬	
糖尿病治療薬	

その他、副作用等が知られている薬物(治療用ホルモン薬、免疫抑制剤、抗がん剤、乾癬治療薬、一部の育毛剤及び前立腺肥大症治療薬)や輸血用血液製剤以外の特定生物由来製品(アルブミン、免疫グロブリン、抗Dグロブリン、抗破傷風ヒト免疫グロブリン、ヒトハプトグロビン、フィブリノーゲン※手術時、フィブリン糊、トロンビン、抗HBsヒト免疫グロブリン、ヒト免疫グロブリン、ヒト由来プラセンタ注射薬)については一定期間または無期限献血不可の場合があります。